仏教保育

3 MARCH

伝えよう　生命の尊さ　ほとけの心

インド菩提樹学園35周年記念法要を終えて

公益社団法人　日本仏教保育協会　事務局長　高山　久照（寿福寺幼稚園・練馬区）

「インド山日本寺40周年・菩提樹学園35周年・光明施療院30周年、インド6大仏跡参拝の旅」が、去る1月21日から29日までの9日間の日程で実施された。

（公財）国際仏教興隆協会（安田暎胤理事長）、（社）全日本仏教婦人連盟（末廣久美理事長）と本協会の共催で行われた今回の旅の参加者数は、各理事長をはじめ一般参加者3名を含む24名。

初日はタイ航空の午前便で成田出発、バンコクにて関西空港から出発した3名と合流後、ホテルにて団結式を行った。その日の夕食はWFB（世界仏教徒連盟＝1950年設立。本部をバンコク市に置き、世界170の地域センターが加盟する仏教徒の団体）事務総長パロップタイアリー氏のご好意でレセプションの形で行われた。

2日目は釈尊成道の地ブダガヤに入り、大塔を参拝。ホテルで休憩後、夕刻に再び大塔を訪れ、WFBより大塔管理委員会への仏像寄贈に立ち会い、隣山会僧侶等とともに菩提樹下の金剛法座前にてプジャを奉げた。

3日目、23日（水）、早朝のスタディーツアーに参加しハンセン病治療施設MAITRIを訪問、インド国内におけるハンセン病の現状の説明を受けた。

その後、日本寺に移動し標題の法要に臨んだ。午前10時20分より日本寺本堂に於いて、隣山会のチベット僧、上座部僧侶の読経に続き関岡俊二理事長を導師に記念法要が営まれた。法要には菩提樹学園からソバ主任教諭と代表園児が参加した。

引き続き、当協会関岡理事長より菩提樹学園35周年の記念品（保育机30台、制服：夏・冬用各210着）が巌谷勝正国際仏教興隆協会現地法人理事長に手渡された。

法要後、場所を移し講堂に於いて菩提樹学園の子どもたち全員による歓迎会が開催された。子どもたちと9名の先生方はこの日に備え2カ月以上をかけて、歌やダンスの練習をしてくれたという。歓迎会の華やいだ表情の子どもたちの様子に参加者一同喜びを感じた。

4日目以降の仏跡参拝の旅は寒波のため、通常よりも寒かったことを除き、大きなトラブルもなく順調に終えることができた。

なかでも、クシナガラの茶毘塚の前で安田暎胤師の法話をお聞きしたことは、極めて印象深く有難いことだった。

昭和52年釈尊報恩感謝の実践行として日本全国の仏教系保育所・幼稚園の関係者より寄せられた浄財で菩提樹学園が開設されて35年目を迎えた。この機会に、今回参加頂いた皆さまと共に現地を参拝することができたことに深く感謝申し上げたい。

関岡理事長より菩提樹学園35周年を祝して巌谷KBKK現地法人理事長に記念品を贈呈

記念式典風景

「関西地区連絡協議会」報告

松尾幼稚園（京都）主事　日野　昭文

関西地区連絡協議会は、1月の理事会の結果を関西地区の各宗ご本山並びに会員にお伝えする会で、毎年2月の上旬に京都で開催されています。

関岡理事長の挨拶に続き、次の通り報告した。

① 去る10月11日、上村映雄理事長が急逝され、10月25日の臨時理事会において副理事長の関岡氏が理事長に、常任理事の緑谷氏が副理事長に選任されて登記を完了した。

② 11月24、25日の通夜、本葬には20年にわたる上村理事長の急逝をいたむ多くの参列者があった。

③ 1月17日の理事会に続いて前理事長の「お別れの会」を開催。特に有縁の皆さま160余名にご参加いただき、多くの方に思い出を語っていただいた。

④ 1月21日から菩提樹学園35周年を記念して総勢24名にてインド仏参旅行を実施。日本寺で法要をつとめ、学園に学習机30台と、夏冬制服各210着を寄付。在園児200名以上を受け入れている学園で活用される予定。

⑤ 2月には教諭、保育士養成大学との協議会を予定している。最近、採用試験への応募が少なくなっているとの声がある。人材確保のためにこの会を大切にして行きたい。

続いて事務局長から、24年度補正予算について説明があった。そして各担当常務理事から25年度事業計画について、また25年度予算についてそれぞれ説明があった。

事業計画の中で大阪地区より関西仏教保育研修会（6／29）の予定が報告された。

京都地区より26年全国大会のテーマについて「つつまれるいのち」―仏教保育の新しいデザイン―との発表があった。

その後、各宗ご本山ご来賓よりそれぞれ激励、お祝辞をいただいて協議会を終了した。

「ほぜんじ幼稚園」さんから日仏保へ200万円が寄贈

1月17日に行われた「上村前理事長お別れの会」（本紙2月号に既報）の席上で、ご遺弟・上村勇雄先生より公益社団法人日本仏教保育協会に、金200万円が贈られました。

関岡俊二理事長は「上村前理事長のご意志を継いで、仏教保育の振興に使わせて頂きます」と、感謝の言葉と決意を述べられました。

すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

【お詫びと訂正】

『仏教保育』1月号（No.585）の「成道会」協賛広告のうち、三松幼稚園の表記が鶴見大学短大部附属三松幼稚園となっていましたが、**「鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園」**が正しい表記でした。謹んでお詫びし、訂正いたします。

インド菩提樹学園訪問と6大仏跡参拝の旅

（平成25年1月21日～1月29日）

白亜に輝くルンビニ園

園児による歓迎のダンス

アショカ王の石柱

ルンビニ園の前で記念撮影

クシナガラの茶毘塚の前で安田長老の説法を聞く

「菩提樹学園35周年、日本寺創建40周年、光明施療院30周年」記念の年に参加して

育英短期大学教授　佐藤　達全

これまでの菩提樹学園訪問と仏跡参拝は日本仏教保育協会の主催でしたが、今回は国際仏教興隆協会・日本仏教保育協会・全日本仏教婦人会の共催という形で実施されました。

その理由は、今年が菩提樹学園が設置されている印度山日本寺が創建されて40周年にあたり、菩提樹学園が35周年、同じく日本寺の境内で無料の診療を行っている光明施療院が30周年を迎えるという記念の年になるからです。そのため、ブダガヤに滞在した一日半（2泊）のスケジュールは非常に盛りだくさんでした。

日本を発って二日目の午後にブダガヤに着くと、すぐにお釈迦さまがお悟りを開いたといわれる場所に建つ高さ52メートルの大菩提寺（マハーボディー寺院）にお参りをし、大きく枝を広げた菩提樹の下でお釈迦さまが坐禅をしたとされる金剛座に手を合わせながら、はるか昔のお釈迦さまに思いを馳せました。大塔の周囲では、さまざまな国の人が一心に経文を唱え、五体投地の礼拝を繰り返しています。

そのわきを通り抜けて、お釈迦さまが沐浴したといわれる蓮池をまわってホテルで休憩しました。大塔が2002年に世界遺産に登録されてからは、周辺の静けさが消えてしまったといわれますが、お釈迦さまを慕う人々の姿は変わっていません。日没後、ライトアップされた大塔を再び参拝したときには、身震いするほどの感動を覚えました。

ブダガヤ滞在二日目は、朝食後にハンセン病治療施設を訪問した後、例年どおり菩提樹学園の子どもたちのお遊戯を見学しました。私が菩提樹学園を訪れたのは10回目ですが、初めて子どもたちのお遊戯を見せてもらった95年に比べると、保育環境が格段に良くなり保育内容も工夫されているように感じました。日本寺の本堂で記念法要を行った後に、光明施療院・尼蓮禅河・スジャータ村を訪れるなど、充実した一日になりました。

今回は6大仏跡を訪ねることになっていましたから、初めて訪れる仏跡もたくさんありました。猿がお釈迦さまに蜜を供養したという話が残っているヴァイシャーリではアショーカ王が築いたと伝えられる石柱やストゥーパを、またチュンダ村ではチュンダの遺跡を見学することができました。そして、10年ぶりに訪れたお釈迦さまの生誕の地・ルンビニは発掘や整備が進んで周囲の様相が一変していましたが、夕闇が迫る中でカピラ城跡ティラウラコッタを参拝できたことも印象的でした。

三つの団体の共催でしたから、24名の参加者の半数は仏教保育とは関係のない方々でした。そのお一人が、国際仏教興隆協会理事長という重責を担っておられる法相宗大本山薬師寺の安田暎胤長老です。長老は、お釈迦さま入滅の地クシナガラの茶毘塚の前で、お釈迦さまのチュンダへの思いやりの心と、ご自身が体験された昭和天皇の周囲の人々に対する思いやりの心を結びつけてお話をしてくださいました。昭和天皇が薬師寺に行幸されたとき、失礼があってはならないと緊張している薬師寺の関係者に対して「特別な準備は要らない。普通に迎えてくれればよい」とのお気持ちを伝えられたそうです。

一方、晩年のお釈迦さまはチュンダの食事の供養を受けて体調を崩されたと伝えられていますが、お釈迦さまはチュンダに心配をさせないように何度も何度も気遣っていたと伝記に記されています。周囲の人に対する思いやりの心の大切さを、ひと言ひと言をかみしめるようにお話しされる長老の言葉に、全員がじっと耳を傾けていました。これこそが、現代の私たちが忘れてしまった大切な「人の心」と言えるのではないでしょうか。

インド旅行（研修）を終えて

佼成育子園（東京）保育士　山田　記央

ブッダガヤ、ラジギール、ヴァイシャリ、クシナガラ、ルンビニ、サルナート、インドの6大仏蹟を旅してきました。

この他に二つの祇園精舎とサンカシャーがあり、インド8大仏蹟というそうです。8大のうち6大もの仏蹟を初めてのインドで訪れるこ

とができました。6大仏蹟それぞれに見どころや現地ガイドさんの解説も面白く、新しい発見や知識が得られました。その中でも、最も印象に残ったのはブッダガヤでした。

保育士の立場として参加させていただいた者として、菩提樹学園35周年の記念式典に参加させていただいたことや、式典での園児の歌、ダンス、ドラマでは子どもたちみんなが笑顔でとても楽しく参加しているのが観ている方にも伝わってきてとても素晴らしく、事前に菩提樹学園の創設の際に育子園からお手伝いに行かれた先輩がいたと聞いていたのでとても誇らしく思い参加できて良かったです。

そしてもう一つは、大塔を見れたことです。とても感激しました。旅の行程では二日目(インドの一日目)最も初めに参拝させていただいた仏蹟でしたが、今回の旅で最後まで、今この原稿を書いているときでさえも、何とも言い表せないのですが、感動、感動しています。大塔にはたくさんの方が参拝に来ていました。僧侶の方が多く参拝されていました。大塔のある敷地内でいろいろな国の言葉、形でお経をあげていました。大塔を中心に時計回りに一周しました(これも今回の旅で得た知識ですが仏蹟などを参拝する際には左肩は見せてはいけず、右肩が見えるように回るとのことでした)。回り終わるころにちょうど夕陽が大塔の横をゆっくりと暮れていきました。とても神秘的な光景でした。

インド最後の日には大塔とは対照的に、ベナレスとガンジス河の朝日を見ました。どちらも同じインドでしたが、インドの広さと人の多さ、穏やかさを感じることのできる一場面でした。ただどちらも売り子さんには馴染めませんでした。なかなかインドの街中を歩くという機会は、バス移動が中心だったのでありませんでしたが、車、バイク、自転車、売り子さん、屋台ととても多く、いたるところでクラクション、ベルを聞きました。「インドの人はのんびりです」と現地ガイドさんから聞いていたのでびっくりしましたが、ただ車が道を渡るときのルールで渡りたい時も渡る時も渡り終わった時も合図でクラクションを鳴らすそうです。

日本に帰国後感じたことは、道を歩いても「しずかだな〜」と思いました。自転車も後ろからスーと静かに通り過ぎていきます。今までは当たり前でしたがあまりの静かさにとてもびっくりしてしまい、「ああ、ぶつかりそうだった」と思ってしまいました。インドの人たちは親切であんなに音を出して周りに知らせていたんだなと感じ、国によって親切の仕方も違うんだと思い、インドを思い出し嬉しく感じました。

自分も自分だけの価値観で物を考えたりしないようにと改めて思わさせていただき、今回のインドで学んだことをこれからの自分の仕事や生活でも活用できたらと思いました。

悟りの場所近くにいながら、なぜか悟りとますます遠くなる私。

「ブッダガヤ　ああブッダ蚊や　仏陀蚊や」(トホホ)

(その7)衛生面での一番の〝緊張る〟は何と言っても立ち寄るドライブインやガソリンスタンドのトイレの汚さ。トイレに行くことが憂鬱。移動時間中、青空トイレを2回経験したが汚いトイレより余程まし。大きなショールを頭からかぶり、菜の花畑に紛れ込めば農村風景に花を添える(訳ないか)。また生野菜、果物には手が出せず、ホテルの水道水もこわごわ歯磨きに使って〝緊張る〟

(その8)クシナガラで安田暎胤師よりチュンダと昭和天皇についての法話を〝謹聴〟した。

(その9番外)インド最終日。

ベナレスの考古学博物館の庭では仔犬が4匹無邪気に戯れ、その傍らで母親が寝そべり仔犬たちを優しい眼差しで見守っていた。仔犬の可愛さや親子の情愛にインドに来て初めてくつろぐひとときだった。ようやく除〝緊張る〟

(おわりに)帰りの飛行機の中。窓から見えた丸い月に「楽しい旅行だった。いろんな人たちに会えてよかった。ありがとう。」と言った途端、まぶたが重くなってきた。

初めてのインドは〝キンチョーる〟

野口　あけみ(千葉市)

「♪はーるばる来たぜインドまで〜　胸の高鳴り抑えつつ　跡を追うわと言いながら　お釈迦さまの最後の旅路　思い描けば行きたくて　とーっても我慢が〜できなかったよ〜」というわけで〝6大仏跡参拝の旅〟ツアーに参加した。インドの旅は以下のとおり〝キンチョーる〟の連続だった。

(その1)バンコク。結団式およびWFBの歓迎会に出席すれば国際仏教○○、全日本仏教○○、日本仏教○○&世界仏教○○の方々。

どこにも帰属しない一般参加の私は〝緊張る〟

(その2)バンコク国際空港の規模の大きさ、立派さは〝金張る〟

(その3)お釈迦様成道の地ブッダガヤ。大塔付近のバザールを歩くと乞食や野良犬が寄って来て、狂犬病が頭をよぎる。「こっ、来ないでー!」と〝緊張る〟

(その4)菩提樹学園では子どもたちが熱烈歓迎。どの子も素敵な衣装で誇らしげ。キラキラのコスチューム以上に輝いて〝錦張る〟

ステージに上がれば映画〝踊るマハラジャ〟ばりの達者な歌と踊り。恐るべし、インドのちびっこ!　インドの底力を感じた。

(その5)バスでの移動は、アスファルトの道路も大きな橋もいたる所に大きな穴があり揺れる。悪路で肩や腰は〝筋張る〟

(その6)蚊取り線香の煙が立ち上る日本寺での勤行。金色の幢幡(どうばん)には本物の鳥がいる。これぞ〝金鳥る!〟

ブッダガヤで坐禅ができるなんて感無量。「よし、集中!」と気合を入れたも束の間、蚊が羽音を立てて迫ってくる。首をすくめ〝緊張る〟

キンチョウ蚊取り線香は「緊張を取る」。略して〝禁張る〟

ああ、だが、しかし数匹の蚊に坐禅三昧はあっけなく惨敗。お

ZENBUTSU 全仏ムだより

税務調査等の対応にご留意！

宗教法人等の税務調査の厳格化や帳簿書類整備の必要性
～適正な申告や帳簿書類の整備が要求されます～

国税通則法の改正（平成25年1月1日以降施行）による税務調査権の明確化（全国一律の統一化・成文化）と罰則による強化

国税通則法の改正内容

- 事前通知（納税者、納税代理人）
  ※但し、非違が疑われる場合は、事前通知することなく質問検査が行われる。
- 質問回答、帳簿書類の提示、提出、留置（罰則あり）
- 取引先等の反面調査
- 調査結果説明
- 更正、決定の通知
- 再調査　など

適正な申告をしましょう

- 給与、謝礼、日当などに対する源泉所得税
- お布施、賽銭、塔婆代、お車代、御膳料、付け届け等の収入・所得計上など

帳簿書類の整備をしましょう

- 財産目録、収支計算書（経常収入年間8000万円超の法人、及び公益事業以外の事業を行っている法人、収支計算書を作成している法人）、事務処理簿、補助簿など

（規則、役員名簿、責任役員会等の議事録等）

- 檀信徒名簿の個人情報は、宗教法人法第84条に準拠し、調査官の意図や内容を吟味した上で、慎重に対処しましょう
- 過去帳は、人権擁護の立場から非開示を含め、慎重に対処しましょう

以上の点について、税理士、弁護士などを招へいして勉強会をしましょう

税務署からの『お尋ね』（任意回答文書）の送付についてご注意を

お布施、賽銭、お守り等の収入状況、宗教活動以外の収支状況、預貯金や不動産の状況、備付書類等の状況、給与（住職・寺族、使用人）の支給状況などについて回答を求めた文書です。

『お尋ね』（任意回答文書）に回答するかしないかは全くの自由です。地域仏教会単位で税務署に対応しましょう。＊詳しくは、公益財団法人全日本仏教会にお問い合わせください。

公益財団法人
全日本仏教会
WFB（世界仏教徒連盟）日本センター
〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4　明照会館2F
電話 03-3437-9275 FAX 03-3437-3260
http：//www.jbf.ne.jp/
E-mail info@jbf.ne.jp

第45回 愛知県仏教保育絵画展

「楽しく描く」

愛知県仏教保育協会事務局
美園保育園(愛知県豊川市) 園 長　黒野 昌康

名古屋会場(第45回)　平成25年 1月22日～ 1月27日
(名古屋市民ギャラリー栄)
三河会場(第３回)　平成25年 2月５日～ 2月10日
(こども未来館ここにこ)

今年度で45回目を迎えた当会の「仏教保育絵画展」も会員園の協力により大盛況のうちに終えることができました。展示会場を尾張(愛知県西部)と三河(愛知県東部)の2会場で開催するのも、はや3年目となりました。

今年度の参加園は2会場を合わせて55ケ園でした。

年々、各参加園の絵画に変化が見られ、「こんなものを描いたんだ」「こんな技法もあるんだ」「これをこんな風に表現できるんだ」など、各園の先生方の指導はもちろん、〃子どもさんが本当に楽しく描いたんだなぁ〃というのがどの絵画からも感じることができます。それは、各会場にて行う表彰式の時にも見て取れます。表彰状を手に、自分の描いた絵画の前で写真を撮ってもらう時の目の輝きや、その絵画について親御さんたちに説明している時の表情など、どの子も自信に満ち溢れていました。

われわれ仏教保育者は、絵画という分野のみではなく、他の分野においても、一回でも多くすべての子どもたちにそのような目の輝きをさせてあげられるようしていきたいものです。

これからも仏教保育によって育まれた子どもたちの「素直な心」「優しい感性」「表現の豊かさ」を絵画等で表現し、より多くの方に見ていただくことはもちろん、生命尊重の保育を社会生活に実践してゆきながら、今後、どのように絵画以外の仏教保育を見つけてゆけるかが、仏教保育協会にとっての課題だと感じています。

合 掌

ご存知でしたか？
嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく
ウィルス・細菌を含む場合があり、処理する際は…
迅速かつ安全に行う必要があります。
感染性胃腸炎では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要
お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物
安全に 清潔に 素早く 快適に
嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤
オブツポイポイが 解決!
汚れた
使う
固める
高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!
高機能吸収剤とゼオライトにより、素早く凝固させ、後処理が非常に簡単!
二酸化塩素担持剤により、ウィルス・細菌を瞬時に除去し、消臭も同時に!
セット価格：¥1,050
(処理剤2袋・マスク・手袋・ゴミ袋・ペーパータオル)
東京都中小企業振興公社ニューマーケット開拓支援事業認定製品(24-124号)　JR東日本で採用
お問い合わせ先　株式会社 共生
東京都足立区古千本町2-12-18　Tel 03-3855-8781
e-mail adachi-k@arion.ocn.ne.jp　(担当者太田)

第28回 埼玉県佛教幼児画展

子どもらしさ」

わせだ幼稚園（埼玉県三郷市）
園　長　石田　隆博

今年は思いもよらない爆弾低気圧もあり、1月に開催されているこの「埼玉県佛教幼児画展」も天候が心配されましたが、無事28回を終える事が出来ました。埼玉県内仏保園13園より約300作品が出品されました。

各園の特徴がよく表われた作品に私自身いろいろと勉強させられました。さいたま市文化センターの展示室のパネル一面に飾られた子どもたちの絵を見ると毎年のことながらとても元気づけられる気がします。作品一つ一つが描かれた情景や想いなど

がひしひしと感じられ、今にも飛び出してきそうな力強さ、迫力、「子どもらしい」絵にたくさん触れることができました。

その作品を見に来た子どもたちの笑顔、そしてご家族の方々の温かさに感心させられます。

受付を済ませ会場に入るとじっくりと絵を見る親子、一目散に自分の絵を探し始める子どもたち。友だちの作品にも興味津津。さまざまな様子が見られます。そして、表彰を受ける時の少し照れくさいような、でも誇らしげな顔が印象的でした。

この幼児画展に参加するたびにみんなが持っている『子どもらしさ』に魅了され、家族の笑顔に心を豊かにさせられています。

最後になりますが、幼児画展を開催するにあたり、たくさんの素敵な絵を出品してくださった幼稚園、保育園の先生方。準備から運営、片付けまでお手伝いいただいた先生方、事務局の皆さまに心より感謝いたします。

ありがとうございました。

合　掌

理事会・運営審議委員会・総会

平成25年5月14日（火）

・理事会・運営審議委員会　11時00分～13時00分
・総　会　14時00分～15時30分
・研修会　16時00分～17時30分
［会　場］大本山増上寺・三縁ホール
・懇親会　18時00分～
［会　場］ザ・プリンスタワー東京
（＊場合によっては、会議時間が多小変更することがありますので、ご了承ください）

ミュージカル「ブッダ」東京公演のご案内

平成23年5月に上映された東映アニメ映画『ブッダ』では、当協会も協力いたしましたが、今回「わらび座」の制作でミュージカルとして上演されることになり、今回も宗派を超えて協力することに致しましたので、ご案内します。

【日　程】2013年5月7日～5月12日
【会　場】シアター1010（千住ミルディス1番館・11F）
【料　金】全席指定　8000円
＊なお、貸切公演、オリジナルパンフレットの作成等もできるそうです。

希望舞台「焼け跡から」公演のご案内

昨年10月、劇団「希望舞台」が1000回公演を目指して活動を続けている水上勉作『釈迦内柩唄』を当協会も協力しましたが、かねてからの構想であった『焼け跡から』の制作が完了し、3月から公演することになりましたので、ご案内します。

【公演日程】
●3月9日（土）　昼の部　14時　開演
　夜の部　18時30分　開演
　山梨県　南アルプス市　あやめホール（生涯学習センター）
●3月16日（土）　14時　開演
　長野県　佐久市・佐久勤労者福祉センター
●3月19日（火）　18時30分　開演
　神奈川県　茅ケ崎市・市民文化会館

幼児教育無償化へ始動・か？

政府は2月17日、3歳児～5歳児の幼児教育無償化への実現に向けて検討する連絡協議会を3月に設置する方針を固め、19日に文部科学省・下村博文大臣と内閣府・森雅子少子化担当大臣が会見で方針を明らかにしました。

夏の参院選前の6月をめどに制度の概要をまとめ、中間報告を行うということです。連絡協議会では、就学前に3～5歳児が通う幼稚園、保育所、幼保一体型の認定こども園を無償化の対象とする方向で検討すると言っています。

財源確保については、所得制限を考慮しなければ7900億円程度と試算していますが、消費税率10％の引き上げは15年10月を予定していますので、財源捻出は14年度以降の予算編成の過程で行う必要があると考えているようです。

それにしても消費税の引き上げ分は「年金・医療・介護・少子化対策」等の社会保障費に使うことが決まっているだけに、財源の見通しが立たなければ画餅に帰すことになるのは必定です。

下村文科相は「財源はこれからの課題だ。政府全体として取り組んでいくテーマである」と語っていましたが、消えゆく〝こだま〟で終わらないことを期待したいものです。

事務局日誌

2／5　関西地区連絡協議会（ホテルグランヴィア京都）
2／14　「仏カリ」「仏教保育」編集会議　事務局会議
2／19　「ほとけの子」編集会議
2／22　養成機関連絡協議会（芝パークホテル）
2／28　こどものくに「チューリップ版」編集会議

編集後記

■3月は卒業式の季節。卒園生を送り出す時やれやれと肩の荷が降りたような気がします。そして、卒園児の保護者から、「お世話になりました、この子がこんなに成長できたのも園の先生方のお陰です」と挨拶いただくと、本当に嬉しくこの仕事をしていてよかったと心から思える時でもあります■また毎年小学校の卒業式に参列し卒園児の大きく成長した姿を見るのも楽しみです。その学校では、演壇に登った生徒が卒業証書を受け取った後、参列者に向かって一言ずつ希望を述べます■「テニスで世界一になりたい」という大きな夢や、大病を経験した子が「医師になって人の病気を治したい」と述べたりするのを聞くのはほほえましい気持ちにさせられます■ところで、一番多かったのは「中学生になったら勉強を頑張りたい」という声。そのことにふと違和感を覚えてしまいました。果たしてそれは子どものホンネなのでしょうか？　（三浦）

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4－7－4
ホームページ　http://www.buppo.com/
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 関岡俊二　編集人 高山久照
毎月1回1日発行(1部315円)

仏教保育綱領

慈心不殺	生命尊重の保育を行なおう
仏道成就	正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進	よき社会人をつくる保育を行なおう

ポップアップ絵本 おしゃかさま

¥21,000(税抜¥20,000)
サイズ:W31×D5×H43cm
重量約2kg
化粧箱(W33 × D5.5 ×H45.5cm)入り
10ページ(見開き5画面)
(社)日本仏教保育協会／監修
諸橋精光／作
さくらいひろし／ PAPER ENGINEERING
脚本ガイド付き

★お誕生からお涅槃までのお釈迦さまのご生涯をつづった大型の立体絵本です。ポップアップならではの精密かつダイナミックな仕掛けをふんだんに盛り込みました。布教活動や仏教保育の現場でご活用いただけます。

誰でも一度は読んでおきたい…
名作児童文学紙芝居
走れメロス　20場面 ¥3,675
泣いた赤おに　16場面 ¥2,940
手ぶくろを買いに　16場面 ¥2,940
(価格は税込)

すずき出版　鈴木出版株式会社
〒113-0021 東京都文京区本駒込6－4－21
電話 〇三－三九四五－六六一二
ファクス 〇三－三九四五－六六一六
●http://www.suzuki-syuppan.co.jp/